

【添付資料】6号機 原子炉起動後の主な検査工程について①

【原子炉起動から営業運転開始までの主な工程】

▼2026年1月20日予定

原子炉起動
(制御棒引抜き)

▼RCIC・HPAC使用前事業者検査



- ※1 発電機出力：発電機が作る電気の量
- ※2 中間停止：タービン系の主要なポンプなどが起動したのち、一度原子炉を停止して設備・機器の異常有無を確認する
- ※3 熱出力：原子炉が作り出す熱エネルギー

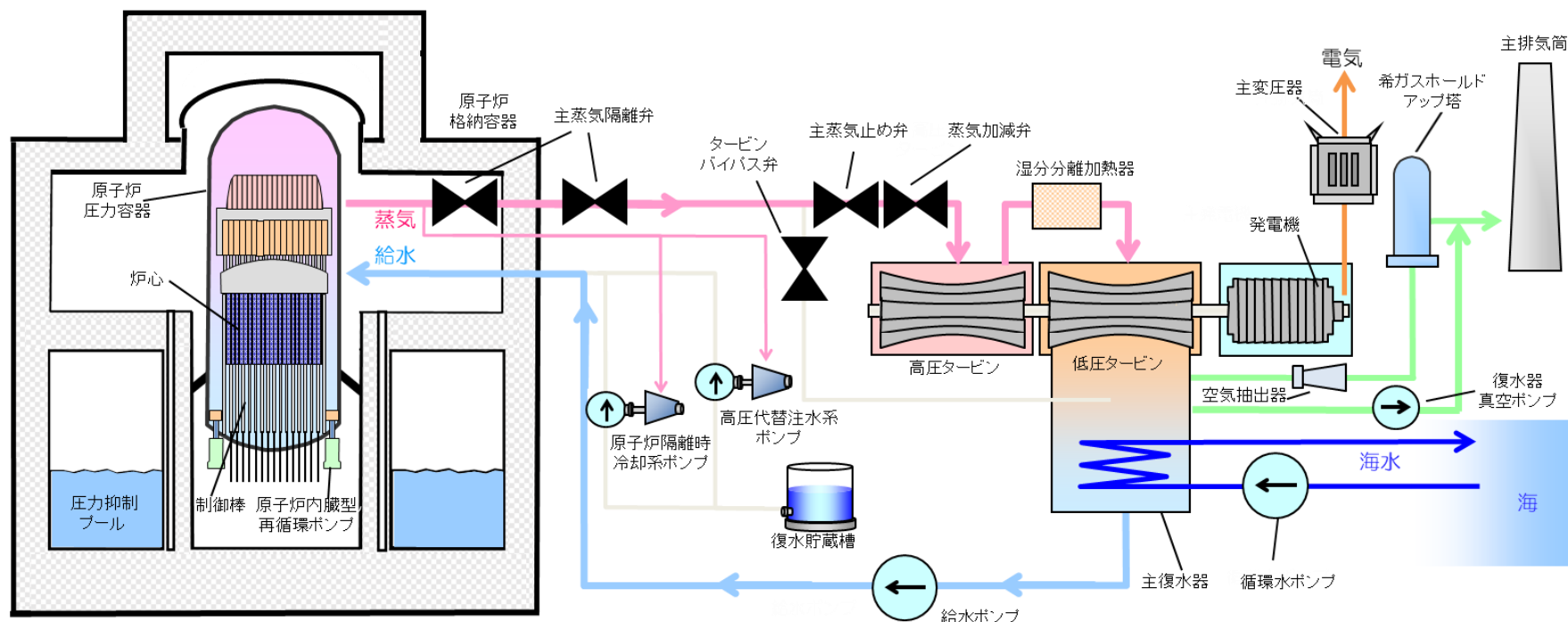
▼2026年
2月26日予定

総合
負荷性能
検査



営業運転

【原子力発電所の概略系統図】

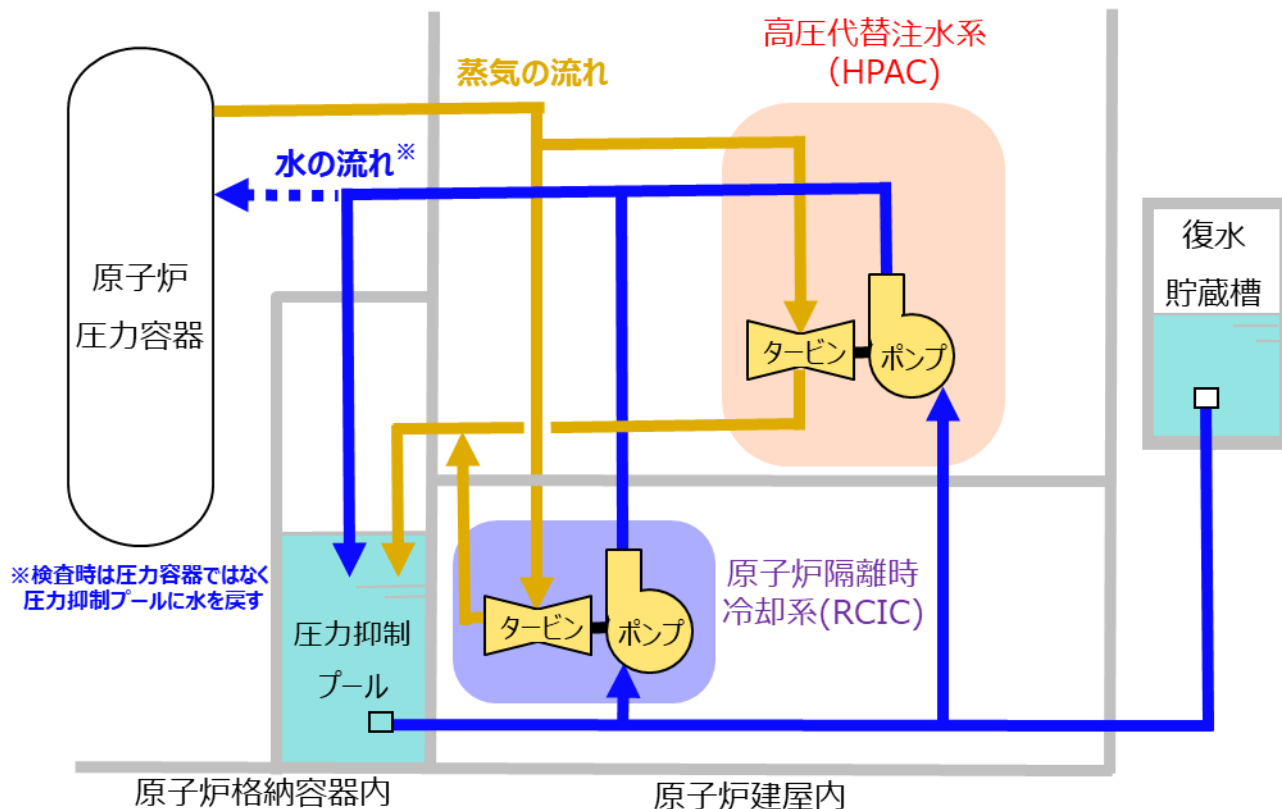


【添付資料】6号機 原子炉起動後の主な検査工程について②

【原子炉起動後の使用前事業者検査】

- 原子炉起動後、原子炉で発生した蒸気により駆動する設備の検査を2件実施
 - ①原子炉隔離時冷却系(RCIC) ②高圧代替注水系(HPAC)
- 原子炉が「定格出力」に到達後、原子炉の出力を上げた状態における、プラント全体の総合的な運転状態を確認する検査を実施（③総合負荷性能検査）

HPAC・RCIC系統イメージ図



6号機原子炉隔離時冷却系(RCIC)



6号機高圧代替注水系(HPAC)

